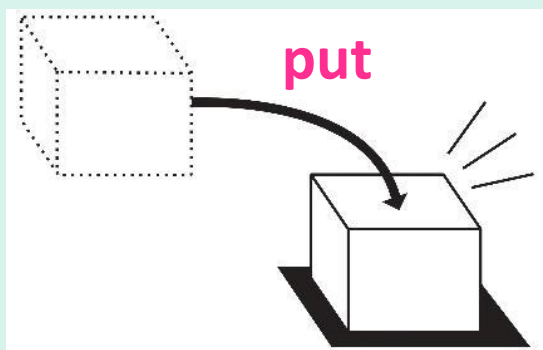


# < 基本動詞 > PUTの世界

## CORE IMAGE



何かを移動させて、  
どこかに位置させる

Let me put it this way.



put は使い道の大きい動詞です。しかし、「put =置く」の理解では「傷に軟膏を塗ってあげよう」といった状況で **Let me put some ointment on the wound.** という使い方できません。また、「ネコを外に出して」という場面で、**Put the cat out.** という表現がなかなか思いつきません。put のコアは「何かを移動させて、どこかに位置させる」というものです。**Put the cat out.** では、ネコを移動して外に位置させるということです。



Let me **put** some ointment on the wound.

傷に軟膏を塗ってあげよう



**Put** the cat out.

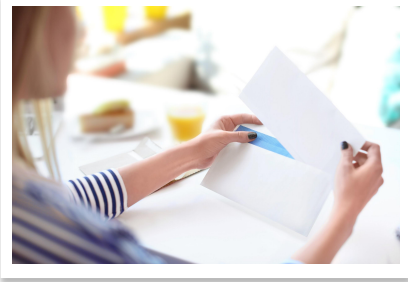
ネコを外に出して

「何かをどこかに位置させる」として put を規定すると、何をどこに位置させるかによってその日本語訳が異なってくるのがわかります。例えば、**Put an 84 yen stamp on the envelope.** なら「84 円切手を封筒に貼りなさい」と **Put a letter in the envelope.** なら「手紙を封筒に入れて」となります。何をどこに位置させるかが問題なのです。



**Put** an 84 yen stamp on the envelope.

84 円切手を封筒に貼りなさい



**Put** a letter in the envelope.

手紙を封筒に入れて

「位置させる」という言葉は、「置く」のように水平の関係を前提としません。そこで目薬を目の中に put (位置)すれば **put eye drops into one's eyes** となり、「目薬をさす」という日本語表現に対応することになりますが、あくまでも put のコア感覚で理解することが重要です。



**put** eye drops into one's eyes

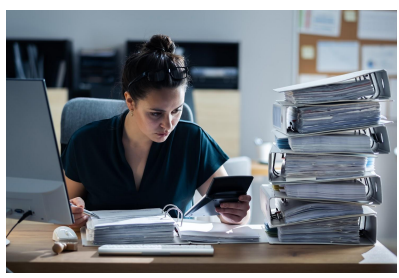
目薬をさす

**Let me put it this way.** といえば、「つまり、こういうことです」という意味ですが、ある内容 (it) をこのように (this way) 位置させる(言い換える)ということです。「今は楽しみよりも職務を優先すべき時だ」という状況でも **Now is the time you should put duty before pleasure.** といいますが、pleasure (楽しみ) の前に duty (職務) を位置づけるということから優先するという意味が生まれます。



Let me **put** it this way.

つまり、こういうことです



Now is the time you should **put** duty before pleasure.

今は楽しみよりも職務を優先すべき時だ